

科目ナンバリング	科目名	教員名
	東洋地域史IV	菊池 泰平

開講詳細			
開講キャンパス	開講時期	曜日時限	単位数
渋谷	2024年度集中、2025年度集中	集中講義	2単位

講義授業	
授業の実施形態	対面型授業
授業のテーマ	東南アジア史
授業の内容	東南アジアは、多様な民族、宗教、言語が共存する社会です。例えば、ミャンマーやタイでは仏教が、インドネシアではイスラム教が主要な宗教であり、言語も地域によって大きく異なります。政治体制や経済発展の度合いも、国によって様々です。歴史を振り返ると、それぞれの地域が、その土地の自然環境に適応した独自の文化を育む中で、インド世界から伝わったヒンドゥー教や仏教、中華世界から伝わった儒教や漢字など、外来文化の要素を取り入れ、現在の多様な文化や生活様式を形成してきました。大まかに言えば、稲作を中心とした農耕文化は、多くの国家の基盤を支えました。また、東西の海を結ぶ交易ルートの中継地として、交易を基盤とする国家も発展しました。19世紀以降、ヨーロッパ諸国による植民地化が進み、第2次世界大戦後には独立を達成しました。しかし、冷戦期には多くの国が紛争や内戦に巻き込まれ、政治的な不安定が続きました。これらの歴史的経験は、東南アジアが現在抱える政治、経済、社会的な課題に繋がっています。本講義では、世界史や日本史の流れも念頭に置きつつ、日本との関わりも深い東南アジア地域の通史を学んでいきます。
到達目標	【知識・技能】 ・東南アジア諸地域の歴史と文化を説明できる。 ・東南アジアと日本の歴史的な関係について説明できる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・東南アジアで起こった出来事を、周辺世界の歴史と関連づけて論じることができる。 ・歴史と文化を踏まえて、東南アジアが現在抱えている課題について論じることができる。

授業計画	
第1回	イントロダクション：地域概念としての「東南アジア」  【事前学習 60分】 ⇒シラバスを読んでおく。東南アジアを地図で調べておく。 【事後学習 30分】 ⇒配布資料やノートを読んで、講義内容を復習する。
第2回	初期国家の形成  【事前学習 60分】 ⇒東南アジアの「インド化」とは何か調べておく。 【事後学習 30分】 ⇒配布資料やノートを読んで、講義内容を復習する。
第3回	新旧勢力の交代  【事前学習 60分】 ⇒東南アジア域内各国における宗教別人口を確認し、現在の状況になった理由を考える。 【事後学習 30分】 ⇒配布資料やノートを読んで、講義内容を復習する。
第4回	交易の時代  【事前学習 60分】 ⇒16世紀以降、ポルトガルやスペイン、次いでオランダやイギリスが東南アジアに進出した理由を調べておく。 【事後学習 30分】 ⇒配布資料やノートを読んで、講義内容を復習する。
第5回	東南アジアの近世  【事前学習 60分】 ⇒18世紀から19世紀前半にかけて勃興した東南アジアの諸国家を調べておく。 【事後学習 30分】 ⇒配布資料やノートを読んで、講義内容を復習する。
第6回	植民地化による社会変容とナショナリズム  【事前学習 60分】 ⇒19世紀後半～20世紀前半における東南アジアの植民地について、勢力図を確認する。 【事後学習 30分】 ⇒配布資料やノートを読んで、講義内容を復習する。

第7回	<p>第2次世界大戦下の東南アジア</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒第2次世界大戦期の東南アジアと日本の関係を調べておく。 【事後学習 30分】 ⇒配布資料やノートを読んで、講義内容を復習する。</p>
第8回	<p>脱植民地化と冷戦</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒第2次世界大戦後、東南アジアで社会主義に人気が集まったのはなぜか考える。 【事後学習 30分】 ⇒配布資料やノートを読んで、講義内容を復習する。</p>
第9回	<p>ベトナム戦争、開発独裁の登場</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒ベトナム戦争の原因と結果について調べておく。／ベトナム戦争がアメリカに与えた影響について検討する。 【事後学習 30分】 ⇒配布資料やノートを読んで、講義内容を復習する。</p>
第10回	<p>新冷戦と東南アジア</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒第2次インドシナ戦争の終結とインドシナの共産化が、世界にどのような影響を与えたか検討する。 【事後学習 30分】 ⇒配布資料やノートを読んで、講義内容を復習する。</p>
第11回	<p>ASEANの形成と発展</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒東南アジアにおける地域機構の変遷をノートにまとめておく。 【事後学習 30分】 ⇒配布資料やノートを読んで、講義内容を復習する。</p>
第12回	<p>冷戦終焉の影響</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒カンボジア和平が実現した経緯をノートにまとめておく。 【事後学習 30分】 ⇒配布資料やノートを読んで、講義内容を復習する。</p>
第13回	<p>強権支配の動揺と民主化</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒フィリピン・タイ・インドネシアで強権支配が動揺した国際的な背景を調べておく。 【事後学習 30分】 ⇒配布資料やノートを読んで、講義内容を復習する。</p>
第14回	<p>ASEANの発展と課題</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒ASEANが抱える課題について調べておく。 【事後学習 30分】 ⇒配布資料やノートを読んで、講義内容を復習する。</p>
第15回	<p>授業のまとめ</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒これまで学んだことを振り返り、より深く知りたい部分を明確にしておく。 【事後学習 30分】 ⇒配布資料やノートを読んで、講義内容を復習する。</p>
授業計画の説明	<p>授業の前半では、アンコール朝、アユタヤ朝、マジャパヒト王国など、様々な王朝が興亡を繰り返した歴史を概観し、東南アジア社会がどのように形成されてきたのかを検討します。後半では、植民地ナショナリズムや現地の人びとの活動に焦点を当て、ナショナリズムの興隆、植民地支配からの独立、国家建設における課題などを確認し、現代国家の成り立ちを理解します。以上に合わせて、日本の東南アジア進出、第2次世界大戦中の占領、戦後の経済協力など、日本と東南アジアの関係についても触れていきます。</p>
授業時間外の学習方法	<p>事前に各国の基礎的な知識を予習しておく。新聞やニュースサイトで、東南アジアに関する話題に目を向ける。</p>
受講に関するアドバイス	<p>高校時代に使った世界史の資料集や地図帳を持っている人は、ぜひ活用してください。</p>

成績評価の方法・基準		
評価方法	割合	評価基準

平常点	100%	毎回、リアクションペーパーの提出を課す。講師から授業内容に関する質問を設定するので、その回答を見て、授業内容を理解できているか判断します。
-----	------	---

注意事項	受講人数によっては、レポートを課す可能性がある。
------	--------------------------

教科書・参考文献等					
教科書					
なし。必要な資料は授業時に配布する。					
参考文献					
ISBN番号	書名	著者名	出版社	備考	K-aiser
9784634341203	歴史世界としての東南アジア	桃木至朗著	山川出版社		<a href="#">著書検索</a>
9784634413504	大陸部(世界各国史;5. 東南アジア史;1)	石井米雄, 桜井由躬雄編	山川出版社		<a href="#">著書検索</a>
9784634413603	島嶼部(世界各国史;6. 東南アジア史;2)	池端雪浦編	山川出版社		<a href="#">著書検索</a>
9784004318835	東南アジア史10講	古田元夫著	岩波書店		<a href="#">著書検索</a>
9784582126389	東南アジアを知る事典: ベトナム+カンボジア +ラオス+タイ+ミャンマ ー(ビルマ)+マレーシア +ブルネイ+シンガポ ール+インドネシア+東テ イモール+フィリピン	桃木至朗 [ほか] 編集	平凡社		<a href="#">著書検索</a>
9784621303900	東南アジア文化事典	信田敏宏編集委員長; 綾 部真雄 [ほか] 編集委員	丸善出版		<a href="#">著書検索</a>
9784571400315	入門東南アジア現代政治 史	中野亜里 [ほか] 著	福村出版		<a href="#">著書検索</a>